

# 11 月相馬・南相馬震災支援プロジェクト報告

2012 年 12 月 10 日

担当 後藤一子

標題の件につき、下記の通り報告いたします。

## (1) 会議報告

11 月 1 日(木) クラシュ・ジャパンとミイテングを、相馬キリスト福音教会にて開催した。

参加者計 8 名にて、以下の予定を確認した：

11 月の予定 9 日(金) 恵泉教会の協力を得て、柚木仮設住宅にて、歌と民舞の会を開催。

30 日(金) クラシュの協力を得て、北飯渕仮設住宅にて、リース作りを開催。

12 月の予定 クリスマス会にて、クリスマスプレゼント（500 人分）の配布を行う。

7 日(金) 大野台仮設住宅に開催。

14 日(金) 小池長沼。柚木・北飯渕仮設にて開催。

9 日(土) 竹下静コンサート。

## (2) 活動報告

1 日(木) 日本同盟基督教団亀田キリスト教会松下牧師夫妻と姉妹 1 名が相馬に来訪される。

2 日(金) 相馬教会葛西師土地を訪ねる。

津浪災害地を見て回り柚木仮設住宅支援物資配付する。

仮設住宅では籠作りをしていたので手伝う。



5日(月)午後FCC報告会(須賀川市シオンの丘)に参加。

7日(水)柚木仮設住宅へ案内配布

9日(金)おはなカフェ開催

柚木仮設住宅にて、歌と民舞の会を開催する。

仮設住宅からの参加者は29名、ボランティアが11名加わり、計40名で開催。

横川姉のギターによる賛美と仮設の方々の民舞が披露された。とりわけ、ふるさと相馬、おけさ節仮設の方々は披露する場が与えられたと、仮設の方々が喜んでくださった。葛西師が、御手玉や「おはじき」を利用してゲームをする。童心にかえった気分を味わい楽しむことができた。ホッカイロ(30個入り)をプレゼントした。



10日(土) リース作りの打ち合わせ。 12月8日(土)の竹下静コンサートの打ち合わせ。

19日(金)「竹下静コンサート」の案内作成

24日(土) 大野台第6仮設住宅へベド一路津子さんが用意したパンを届ける。

26日(月) 教会にてパンの包装をし、北飯渕仮設、柚木仮設、一人暮らしの方々へ配布する。

28日(水) 大野台第8仮設住宅へ催事の案内を配布。

30日(金) おはなカフェ開催

大野台第8仮設住宅(主に原発被災者が居住)にて、クリスマスリースを作成する。

仮設住宅からの参加者は9名、ボランティアが9名加わり、計18名で開催。

一人のボランティア参加者が材料のすべてを用意し指導して下さったことに感謝したい。手作業の中で、津波ことも語り合う時を持った。リースについては、部材の接着がうまくゆかず困惑したが、皆個性的な作品を作り上げて、クリスマスを迎える備えとなることを喜んだ。作成が終わり、「お茶っこ」となった際、浪江町の状況を聞いた。放射能が最も高い(20マイク以上)の家から避難してきているという。「はたしていつまでここに留まるのか、帰ることができるのか、わからない。この状態は辛いことだが仕方がないし、子供を守るためにはもう戻らないだろう」と話していた。みな、不安と悲哀を感じて、聞いてあげることしかできない自分たちだと思った。パンとホッカイロとプレゼントした。